

2018年度  
学校関係者評価

評価対象期間 自：2018年4月 1日  
至：2019年3月31日

都築教育学園  
鹿児島第一医療リハビリ専門学校

## 目 次

1. 目 的	.....	2
2. 評価項目	.....	2
3. 評価組織	.....	2
4. 実施の概要	.....	2～3
5. 実施成果	.....	3～5
6. 学校関係者評価結果	.....	5～6
7. 総 括	.....	6～7

別 紙「学校関係者評価アンケート結果」

## 1 目的

次の目的をもって学校関係者評価を実施した。

- (1) 学校運営について評価して頂き、今後の改善を図る上での資を得る。
- (2) 学校としての説明責任を果たし、学校運営に関する理解と協力を得て、より良い学校づくりを進める。
- (3) 頂いた評価を下に改善措置を講じることにより、教育の質の向上を図る。

## 2 評価項目

次の項目について、関係法令等に基づき法規・適正に効率的に行われ、所望の効果をj得ているかを評価して頂いた。

- (1) 学校運営
- (2) 教育活動
- (3) 教育成果
- (4) 学生支援
- (5) 学習環境
- (6) 募集広報
- (7) 学校評価に係わる取り組み
- (8) 情報公開に係わる取り組み

## 3 評価組織

- (1) 評価委員（個人名は略）
  - ア 委員長：学校後援会会長
  - イ 委員：理学療法学科 保護者  
作業療法学科 保護者  
言語聴覚学科 保護者  
柔道整復学科 保護者  
はり・きゅう学科 保護者
- (2) 学校教職員
  - ア 教学部長、各学科長及び各学科教員
  - イ 事務局：事務長以下、事務職

## 4 実施の概要

- (1) 実施時期・場所  
2019年4月14日（日） 鹿児島第一医療リハビリ専門学校
- (2) 実施事項
  - ア 全般説明
  - イ 各学科の公開授業
  - ウ 教育施設・設備及び教育研究機器類の確認（実視）

- エ 評価アンケートの記入
- オ 各評価委員による所見開陳
- カ 懇談

## 5 実施成果

### (1) 全般説明

次の内容、特に現状の問題点及び改善方策について各評価委員にご理解を頂いた。

#### ア 学校の現況

- (ア) 定期試験、進級基準及び卒業基準による学生管理の状況
- (イ) 留年者及び退学者の状況
- (ウ) 臨床実習の実施状況及び実習学生への木目細かい対応
- (エ) 国家試験受検のための指導態勢及び試験結果（卒業後のフォローを含む。）
- (オ) 就職支援態勢及び2018年度卒業生の就職等の状況
- (カ) 募集広報の取り組み及び募集広報成果

#### イ 2018年度学校評価（自己評価）

- (ア) 「自己点検」、「学生アンケート」、「自主点検」、「授業評価」及び「公開授業」等の自己評価の取り組み状況

- (イ) 2018年度自己点検結果

殆どの項目が「優良又は良」であり「不可」とする項目はないが、次の項目に関しては改善が必要と認識しており、優先順位に基づき段階的に措置することが必要

- a 情報システム等の活用による業務の効率化
- b 卒業生の支援
- c 施設・設備の充実

- (ウ) 学生アンケート結果

- a 教育活動

95%以上の学生が肯定的意見であるが、「学生の悩み相談」は若干低下しており、中々声を上げ辛い学生へのフォロー（心情把握）が必要

- b 教育成果

全般的に昨年度より肯定的意見が増加し、「国家試験対策」で高い評価を得た反面、否定的意見も若干増しており、伸び悩んでいる学生への個別指導の強化が必要

- c 学生支援

全項目で昨年度より肯定的意見が増加しているが、「サークル活動」は例年否定的意見も散見（15%前後）しており、学業優先のスタンスは維持しつつ、サークル活動への助成・表彰等により充実感を付与することが必要

- d 教育環境

「図書室の利用」及び「施設設備の整備」について低下しており、学生が特に不便を感じている事項を把握し、優先順位に基づき段階的に改善することが必要

「学外実習等」については約90%の学生が肯定的意見

## ウ 2019年度事業計画の概要

### (ア) 方針及び重視事項

(イ) 人事（教職員の新規採用、学校組織、各クラス担任等）

(ウ) 高等教育の負担軽減制度

(エ) 募集広報の主要事業

(オ) 就職・厚生

a 就職支援の主要事業（就職説明会、就職相談等）

b 奨学金等（各種奨学金の情報提供・手続、学納金等の相談、教育訓練給付金等）

(カ) 学生教育・指導

a カリキュラム改正への対応

理学療法学科、作業療法学科、柔道整復学科、はりきゅう学科

b W i f i 環境の整備及びEラーニングの導入

(キ) 学生の安全管理

a 危機管理マニュアルの整備、緊急連絡態勢の維持、危機管理設備・器具の整備等

b 各種点検・確認及び訓練・研修

(ク) 学生の健康管理

a 定期健康診断・検査、インフルエンザ予防接種

b 環境衛生検査

c 衛生委員会による啓発活動

d 学生・生徒災害傷害保険等への加入

(ケ) その他

a スクルーバスの新規運行拡大

b 情報公開への取り組み

## (2) 各学科の公開授業

次のとおり、各学科長等の立会・説明の下に各学科の授業を評価委員に公開し、カリキュラムに基づく教育の実施状況、特に、教育内容、教育要領（教育型式・方法等）、教員の資質・能力等について評価して頂いた。

ア 理学療法学科：臨床運動学（治療室）

イ 作業療法学科：作業療法評価学Ⅱ（731・732教室）

ウ 言語聴覚学科：言語発達学演習Ⅱ（基礎実習室）

エ 柔道整復学科：柔道整復学各論Ⅲ（754教室）

オ はり・きゅう学科：経絡・経穴概論Ⅱ（742教室）

## (3) 教育施設・設備及び教育研究用機器の確認（実視）

次のとおり、各学科長立会・説明の下に各学科の主要な教育施設・設備及び主要な教育研究用機器類を評価して頂いた。

ア 理学療法学科：機能訓練室、基礎医学実習室、水治室、装具加工室

イ 作業療法学科：

日常動作訓練室、木工・金工・陶芸教室、織物・手工芸・絵画教室、装具加工室

- ウ 言語聴覚学科 : 聴力検査室、観察室・訓練室  
エ 柔道整復学科 : 柔整実技実習室、付属整骨院、付属柔道場  
オ はり・きゅう学科 : はり・きゅう実技実習室、付属鍼灸院

#### (4) 評価アンケートの記入

各評価項目・内容について、「(適切に) なされている」、「改善すべきところがある」又は「わからない」の三択方式のアンケート型式により各評価委員に評価して頂いた。

アンケート結果は、別紙「学校関係者評価アンケート結果」による。

#### (5) 各評価委員による所見開陳

評価結果及び学校関係者評価の実施に関する所見について、各評価委員から所見を開陳して頂いた。

その概要は、第6項「学校関係評価結果」のとおり。

#### (6) 懇談

学科ごとの懇談形式により、当該学科担当の評価委員と学科長及び教員との間で、学校運営や学生教育について情報交換・意見交換を行うとともに、親睦を深めることができた。

## 6 学校関係者評価結果

### (1) 学校運営

「運営方針・事業計画等の策定」、「運営組織等の機能」、「学生本位の業務運営」について、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

### (2) 教育活動

「学科ごと到達可能な目標の確立」、「カリキュラムの体系的な編成」、「授業評価、公開授業等による教育の質の向上」、「科目に応じた教員の確保」及び「明確な卒業・進級基準」については、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

ただし、「各学科の課程編成(クラス定員)は守られているか」について2名、「個々の学生に応じた教育・指導」について1名、それぞれ「わからない」との回答であった。これは、説明不足によるものと思われるので、次回学校関係者評価において是正する。

### (3) 教育成果

「就職率の向上への取り組み」、「資格取得率向上への取り組み」及び「卒業後のフォロー」については、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

ただし、「留年・退学者の抑制のための努力」については、「学科にもよるが、退学者が多いと思う。」との指摘を1名の評価委員より頂いた。ご指摘のとおり学科又は年度によっては、退学者・留年者が散見されるので、更に木目細かい学生指導・支援を強化して、これら学生の抑制に努める必要がある。

### (4) 学生支援

「学生の経済的側面に対するフォロー」及び「学生の健康管理のための措置」について、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

ただし、「学生相談への対応」については、1名の評価委員から「改善すべき」との指摘を

頂いた。これは、(2)号の「留年・退学者の抑制のための努力」にも関連する指摘であり、特に声を上げづらい学生などに対し、待ちの姿勢ではなく教職員からアプローチし身上（心情）把握を行い、個々の事情に応じたフォローが必要と考える。

#### (5) 学習環境

「学外を含めた実習・実践教育」及び「安全管理に関する措置」については、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

ただし、「教育に対応した施設・設備」については、「冷暖房設備の不足」及び「施設・設備の老朽化」などの指摘を頂いた。指摘のとおり、本校の教育施設・設備及び教育用研究機器は老朽化が進んでいるため、優先順位に応じて逐次整備していく必要がある。

#### (6) 募集広報

「適切な学生募集」については、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

ただし、「適切な入学選考」については、1名の評価委員から「よく分からない」との回答があり、次回学校関係者評価において十分な説明をする必要がある。

#### (7) 学校評価

「適切な自己評価・自己点検」について全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

#### (8) 情報公開

「必要な情報の提示提供」について、全評価委員から「なされている」との評価を頂いた。

#### (9) 自由意見

各評価委員から、学校全般について自由意見を記入して頂いた。その概要は次のとおり。

ア 公開授業は素晴らしい取り組みで有り、学生の状況及び学校・学科の需要への取り組みを知る良い機会であるので、全保護者を対象として拡大実施して頂きたい。（全評価委員）

イ 運動会やボランティア活動など、学校活動に保護者も参加できるものがあれば良い。

ウ 丁寧な説明と現場確認・公開授業を通じて、学校の様々な取り組みを知ることができ、安心することが出来た。

エ 電子レンジや湯沸かし器の設置など、学生の食事にもより配慮をお願いしたい。

オ 経費の制約もあるが、老朽化した施設・設備及び教育研究用機器の整備・更新をお願いしたい。

## 7 総括

(1) 今回の学校関係者評価は本校として初の試みであり、試行錯誤の中で実施した面も否めな  
いが、学校関係者評価の実施及び実施した内容等については、全ての評価委員から高い評価  
を頂いたほか、本校としても、学生教育をはじめとする学校運営全般について、限られた範  
囲・対象ではあるが、学校関係者に説明責任を果たすとともに、これら関係者のご理解とご  
協力を得る貴重な機会となったことは大変有意義であった。

(2) 評価結果については、大部分が肯定的な評価を頂いているが、じ後の改善の資となる貴重  
な意見を頂いていることから、更なる学校運営の充実、教育の質の向上のための改善施策と  
して反映していくこととする。

(3) 次年度の学校関係者評価においては、今回の実施内容・要領を踏まえ、学校の現況や新た

な取り組みについてより理解を深めて頂くとともに、幅広く貴重な意見等を頂けるよう改善を図っていく。